

Hi there!
はいさい!
你好!

ニュージャージー州出身。
2024年8月1日国際交流員
(CIR)として浦添市役所
国際交流課に配属。

ゆくいみそ〜れ〜!
ジェイソンと
ひと息カフェトーク
~JASON's Cafe Talk~

Episode
12
smells yummy talk
and journey talk

原文・和訳
ジェイソン チェン
JASON CHENG

二年目の冰山開拓

読者の皆さん、9月号の特集はいかがでしたか。

沖縄・浦添市に来て一年経っても、沖縄についてはまだ冰山の一角しか知らないと最近感じています。歴史や文化について吸収すればするほど、どんどん新しいウサギの穴に落ちていくことに気がきました。

9月に、市長をはじめとする浦添市の行政団が「ハワイ沖縄移民125周年」を祝うため、ハワイに行きました。「ハワイ浦添市人会」との調整を経て、アメリカ人として知らなかったハワイと沖縄の歴史的繋がりを知ることができました。

それから、今年も新しい南米研修生の学びに付き添っています。その中で、「舜天雅エイサー団」から浦添のエイサー少年団の数が年々減少していること、旧盆の時期に各地域を回る「道ジュネー」という伝統を守り続けていくことの大切さを教わりました。また、「浦添市美術館」では琉球から沖縄への歴史の移り変わりを、漆器を通して見ることができました。

そして、「歴史にふれる館」では、浦添の貝塚時代からの文化と発展の流れに触れることができました。どれも私の浦添への理解を更に深めています。

My Second Year Iceberg Exploration

Dear readers, hope you enjoyed September's special issue. Even after a year in Urasoe/Okinawa, I recently realize that I still know only the tip of the iceberg of Okinawa. The more history & culture I absorb, I notice myself falling into more and new rabbit holes.

In September, Urasoe's delegation party, led by the mayor, traveled to Hawaii to celebrate the 125th Anniversary of Okinawan Immigration to Hawaii. Through the coordination work with the Urasoe Hawaii Shijinkai leading up to the visit, I had the chance to learn about Okinawan-US historical ties, that I hadn't known as an American.

This year again I'm accompanying the new South American Trainees in their studies. Shunten Miyabi Eisa Troupe, taught me about the annually dwindling of Urasoe's youth Eisa troupes, and the significance of their work to continue bringing michi-junee parades through neighborhoods from the back of a truck. Urasoe Art Museum gave me a glimpse of history, from Ryukyuu to Okinawa, as it's directly reflected across the evolution of the lacquerwares. At the Urasoe City History Museum ("Touch of History Museum"), I "touched" through the flow of cultural developments starting from the Shell Mound Period. Each further deepened my understanding of Urasoe.

浦添市公式 Instagramにも投稿してるよ!

てだっ子STUDIO

てだこキッズファースト 宣言大使 てだ子

牧港在 イケメンな新生児です

宮城在 お姉ちゃんて一番可愛い子です

牧港在 たくさん笑うようになったよ

嶺井 湧仁 ちゃん(1か月)

國分 立夏 ちゃん(6歳)
恭弘 ちゃん(3歳)

與那覇 紘季 ちゃん(3か月)

写真募集中!

【募集対象】市内在住の0~9歳のお子さん
【応募方法】右記の二次元コードから①お子さんお名前②ふりがな③年齢または月齢④居住区⑤一言コメントと、画像データ(JPEG等)を添付し送信してください。

応募はこちら▲



- 写真は、お子さんの顔全体が写っているもの(たて撮り推奨)
- これまでに掲載されていないお子さんを優先します。
- 応募者多数の場合は、抽選の上、掲載します。掲載の可否については連絡いたしませんのでご了承ください。

このコラムを読んでくださる皆さまのお宅にも調査書類が届いたことでしょうか。浦添市にとっても、もちろん全国どの自治体にとっても、非常に重要な調査がこの「国勢調査」というものです。

国勢調査とは、沖縄県や浦添市の人口の男女構成比など、10月1日時点で、私たちの県や市に一体何人の人が実際に暮らしているのか等を把握するための調査です。5年に一度、全国一斉に、外国人も含めて日本に住む全ての人と世帯を対象として実施され、住民票のあるなしに関わらず実態人口を正確に調べる全数調査です。国勢調査と聞くとなんだか難しい感じがしますが、これは私たちの生活に関わるとても大切な調査なのです。

例えば、浦添市の財源となる地方交付税の算定基礎となっていたり、防災計画の策定や、選挙、交通計画、

ご協力ください!

はいさい!
市長
コラム



浦添市長 松本 哲治
Tetsuji Matsumoto



▲国勢調査について
(市ホームページ)

詳しくは下をみてね



浦添市をより良くするため、あなたの力が必要です!「国勢調査」へのインターネット回答をよろしくお願ひします!

子育て支援、高齢者福祉対策に利用されたり、また企業や学術研究など民間でもこの調査の結果が使われています。

今回の調査では、浦添市内を874の調査区に分けて、調査員約360人とその支援を行う指導員約90人、なんと合計450人以上のメンバーで取り組む一大事業なのです!

そこで、ぜひとも書類が届いた皆さまには回答へのご協力をお願いします。回答方法は調査員へ調査票を直接提出するか、郵送もありますが、インターネットでの回答が断然オススメです。多くの皆さまがより簡単でより便利に回答できるよう改善されており、二次元コードを読み込んで、調査への質問に答えるだけでOKです。これまでのようにログインIDやアクセスキーを自分で入力する手間がなくなっているため、スマホを持っている方は特に便利となっています!

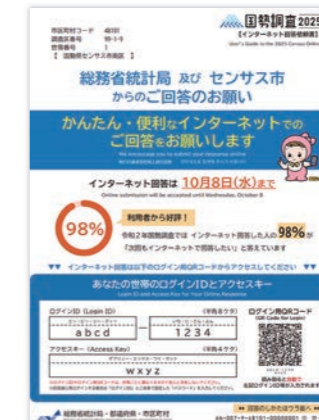


国勢調査の回答はお済みですか? /
回答期限は **10月8日(水)まで!**
回答がお済みでない世帯は、期限までに回答をお願いします。

すでにご回答くださった皆さま、ご協力ありがとうございました。
まだの方は、お早めをお願いします!



9月下旬にお配りした調査書類の「インターネット回答依頼書」または「調査票の記入のしかた」を確認の上、回答をお願いします。



かんたん・便利なインターネット回答がおすすめです!

国勢調査についての問い合わせ 国勢調査コンタクトセンター 調査員による訪問回収についての問い合わせ
☎0570-02-5901 (IP電話: 03-6628-2258) 【統計係】☎(876) 6828 (直通)